

## 「第17回うつくしま基金」助成に伊達市の5団体が選ばれました! 第27号

# 2.26 は男女共同参画の視点から考える「防災と減災」の講演会! 自主防災組織設立稼働に取り組む地域自治組織は見逃せません!

「3.11」から間もなく8年。「防災」「減災」「復興」の取り組みに終わりはありません。「2つの催し」がありますから改めてご紹介します。ひとつは2月26日保原中央交流館で開催される「防災と減災の講演会」。もう一つは3月20日福島県が開催する復興に取り組んできた市民団体の「成果報告交流会」です。

### 「第2次男女共同参画プラン」を制定した伊達市。「ビッグパレット避難所」に携わった講師の話は…

・2月26日の防災と減災の講演会は、右の案内チラシにあるように「男女共同参画講演会」として開催されます。このことは去年5月伊達市が策定した「第2次男女共同参画プラン」と無縁ではありません。「第1次」(2011年2月)にはなかった「防災・災害復興活動における男女共同参画の推進」が「基本的な施策」として明記されているからです。第2次に明記されたのは第1次の策定後に「3.11」を体験したからですが、加えて2015年実施の市民アンケートで「防災・災害復興において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか?」への市民の回答が「必要がある50.6%」「どちらかといえば必要がある29.7%」「どちらかといえば必要ない1.9%」「必要ない1.3%」だったから。

・講師の天野さんは「3.11」の際、県内最大規模の避難所となった「ビッグパレット」の運営にも携わった方。過酷な現場を知る方がどんな問題提起をしてくださるか…自主防災組織の設立稼働に取り組む、地域自治組織の防災担当者には見逃せない講演会です。

### 復興の歩み続ける25の市民団体が成果報告! どなたでも参加できます! 交流会もあります!

・福島県が取り組んでいる復興支援事業のひとつが「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」。その平成30年度「成果報告交流会」が、3月20日福島市の杉妻会館で開催されます。行政では手が届きにくい復興・再生支援事業を、NPO等市民団体の「絆力(きずなりよく)」を生かして実施しているもので、平成30年度は「25の市民団体」が事業に取り組んでいます。

・伊達市からも「NPO法人りょうぜん里山がっこう」が報告予定です。どなたでも参加できますし、参加無料です。成果報告終了後は交流会もあります。チラシの右の電話かHPから事前申込みしてください。

## 男女共同参画講演会 「いのちを守る視点」 ～男女共同参画の視点を踏まえた防災と減災～

平成31年  
日時 **2月26日(火) 13:30~15:00**  
場所 **保原中央交流館 3階 大会議室**  
講師 **天野和彦さん**  
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授

この講演会では、過去の災害からの経験を踏まえ、地域・自治・男女共同参画などの多様な視点から、防災・減災に対する基礎的な知識と心構えについてお話をいただきます。

【講師経歴】  
1959年福島県会津若松市生まれ。障がい児教育を専門として15年間、障がいのある子どもたちの教育に携わる。2001年より県教育庁生涯学習文化グループで「県民カレッジ」の立ち上げ準備を行なう。2011年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2,500人の被災者を受け入れ、県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わる。2017年4月より現職。被災者の生活再建、コミュニティ形成のための支援活動を行っている。

参加料 **無料**  
申込方法 **事前申込不要** 直接、会場へお越しください。みなさまのご参加をお待ちしております!  
問合せ先 伊達市市民生活部市民協働課  
〒960-0692 伊達市保原町舟橋180  
電話：024-575-1177 FAX：024-573-5865  
メール：kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

主催：伊達市市民生活部市民協働課

復興の礎は  
いまここに  
一歩、一歩

ふるさと・きずな維持・再生支援事業  
**成果報告交流会**

開催日時 **3月20日(土) 13:00~16:00**  
開催場所 **杉妻会館 4階 牡丹**

お問い合わせ先  
TEL: 024-521-7333 FAX: 024-521-2741  
E-mail: [kyodou@city.fukushima-date.lg.jp](mailto:kyodou@city.fukushima-date.lg.jp)

電話またはHPから、  
事前申込みをお願いします。  
・電話⇒024-521-7333  
ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事務局(ふくしま地域団体サポートセンター内)  
・ホームページ⇒  
<https://f-saposen.jp>  
ふくしま地域団体サポートセンターのホームページです。  
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業 成果報告交流会」のバナーをクリックして「申込みフォーム」に必要事項をご記入ください。

# 「第17回うつくしま基金」の助成に伊達市から5団体合格! 「まちの駅やながわ」の「肉ゴロツとおにぎり」が「最優秀賞」!

「スタートアップ支援」2団体「実践支援」3団体。  
137件応募の中から伊達市の団体に助成決定。

・「第17回うつくしま基金」(右チラシ)の県北地区の説明会は昨年10月16日伊達市で開催され、多くの市民団体が参加しました。その審査結果がこのほど発表されましたが、伊達市からは5つの市民団体が助成団体に選ばれました。「うつくしま基金」には助成のコースが「スタートアップ支援」「実践支援」「発展事業支援」「自治体との協働」と4つありますが、伊達市から選ばれたのは「スタートアップ支援で2団体」「実践支援で3団体」でした。5つの団体の事業テーマも「外国人のための日本語教室」から「障がいを持つ方のための勉強会」まで実にさまざまでした。伊達市の市民団体の活動の多様さがうかがえました。

NPO法人が運営担当の「まちの駅やながわ」が、「お弁当・お惣菜大賞2019最優秀賞」を獲得。

・新聞、テレビそして伊達市広報でも報道されましたが、あらためて「まちの駅やながわ」の写真を添えて報告します。「NPO法人伊達氏のふるさと梁川会」が管理運営を担当している「まちの駅やながわ」にある「お食事処やながわ」の「肉ゴロツとおにぎり」が全国から応募が殺到する「お弁当・お惣菜大賞2019」の「おにぎり部門」で「最優秀賞」を獲得したのです。オープンして1周年を迎える前の快挙と言えます。

・「肉ゴロツとおにぎり」は「お食事処やながわ」を運営する「伊達鶏」で知られる「伊達物産(株)」が開発。看板メニューの「ゴロゴロ肉うどん」の特製つゆでご飯を炊きこれに「伊達鶏」をあわせています。「おにぎり部門」の応募は4,655件あったとか。その中から「最優秀賞」に選ばれたのです。地元のNPO法人と地元の民間企業の文字通りの「協働(コラボレーション)の成果」ではないでしょうか。まだ召し上がったことのない方は、ぜひ食してみてください。



●これが「第17回公益信託うつくしま基金」の案内パンフレットです。10月5日から1か月間の募集期間でした●「県北説明会」は第16回に続いて伊達市で開催され、約30名近くの市民団体の皆さんが、熱心に事務局の説明に耳傾けていました。●今回助成に合格した伊達市の5つの団体の詳細は「うつくしま基金」のホームページに発表されていますから、そちらをご覧ください。

●残念ながら「うつくしま基金」の募集は2019年度の第18回が最後になりそうです。  
●16回、17回と2回続けて「県北説明会」を共催してきましたから、最後の説明会にも共催に名乗りを上げたいと考えています。

## まちの駅やながわ「肉ゴロツとおにぎり」 お弁当・お惣菜大賞2019で最優秀賞!



●上の写真は伊達市の広報2月号で報じられた「最優秀賞」受賞を喜ぶ「まちの駅やながわ」の八巻駅長(右から3人目)はじめスタッフの皆さん。



●発表当日大看板で受賞を知らせる「まちの駅やながわ」と、受賞の知らせで駆け付けた大勢の市民をもてなすNPOの理事長兼駅長の八巻さん(右)。

### 「市民活動」のご相談は「月曜～土曜」に、何なりと、お気軽に、「支援センター」へ!

・2月～3月は市民団体や地域団体にとっては「年度更新の準備時期」。次年度予算、次年度事業計画が気になってきます。そんな時は「支援センター」に一度ご相談ください。NPO法人や地域自治組織の設立稼働をサポートしてきたキャリアを生かし、ご一緒に解決策を探します。例えば「子どもゆめ基金」「後期」受付が「5月1日」から始まる等、助成金情報も届いています。「自分たちにふさわしい助成金はないか」等々、お気軽にお問合せ、ご相談ください。



伊達市市民活動支援センター  
 電話番号: 024-583-2800 FAX: 024-583-2820  
 ○開館: 毎週・月～土曜(日曜休館)  
 午前9時～午後6時  
 伊達ふれあいセンター3階まで